

令和7年度 苫小牧市コミュニティセンター 管理運営実績シート

内容		計画及び実績等			
事業計画概要	1 講座及び自主事業の開催				
	2 市民サービス向上への取組等				
	①ホームページでの情報周知				
	②地域、町内会、サークル活動の情報掲示				
	③情報誌の配布				
	3 市民ニーズの把握に向けた取組				
	①講座受講者アンケート				
	②利用者懇談会				
	③年間アンケート				
	④地域懇談会				
⑤運営検討会議					
事業計画の内、未実施の事業		なし			
経年比較時の参考年度		R6	前年度実績を参考としない場合の理由		
利用実績	R6実績（参考値）		R7目標		R7実績
	454,228人		367,161人		462,937人 126.0%
	26,381件		21,951件		26,024件 118.5%
利用者満足度	利用者アンケート結果				
	満足 69.3 %		やや不満 0.7 %		
	やや満足 29.8 %		不満 0.3 %		
事業費（自主事業を除く総額）	収 入				
	費目		R6決算（参考値）	R7予算	R7決算
	指定管理費		151,330,000円	151,283,000円	151,283,000円
	利用料金収入		18,794,595円	19,160,000円	18,299,625円
	自主事業収入（充充分）				1,035,153円
	その他収入（補助金・補てん金）		0円	0円	0円
	その他収入（補助金以外）		2,908,970円	2,928,000円	3,070,878円
	合計		173,033,565円	173,371,000円	173,688,656円

	支 出			
	費目	R6決算（参考値）	R7予算	R7決算
	人件費	114,450,441円	117,662,000円	121,240,183円
	光熱水費	15,710,422円	16,724,000円	15,230,588円
	燃料費	12,616,139円	14,065,000円	12,956,740円
	修繕費	2,316,597円	2,648,000円	2,700,262円
	委託費	8,242,113円	9,137,000円	8,078,853円
	その他物件費	12,420,944円	13,135,000円	13,035,492円
	※施設の特性等を考慮し、記載可			
合計	165,756,656円	173,371,000円	173,242,118円	
自主事業内容	計 画		実 績	
	事業数：１１６件 食関連事業・季節イベント（七夕、母の日、父の日、クリスマス等）・読み聞かせ・健康増進事業・子育て応援事業・地域連携事業・世代間交流事業・介護事業・環境防災事業・うたごえ喫茶・長期休み子ども向け事業・図書関連事業・学習スペース開放・体験事業・出張ふまねっと等		事業数：１２６件 食関連事業・季節イベント（七夕、母の日、父の日、クリスマス等）・読み聞かせ・健康増進事業・子育て応援事業・地域連携事業・世代間交流事業・介護事業・環境防災事業・うたごえ喫茶・長期休み子ども向け事業・図書関連事業・学習スペース開放・体験事業・出張ふまねっと、モルック教室、フラダンス講座、ロビー写真展、美姿勢講座等	
自主事業計画の内、未実施の事業	バドミントン交流会			
職員研修等の実施内容	計 画		実 績	
	・ 職員の接遇 ・ フレイル(介護予防) ・ 普通救急救命講習 ・ 危機管理研修 ・ 衛生管理 ・ 清掃 ・ 経理基礎 ・ 法令遵守 ・ 地域共生社会 ・ ＳＤＧｓ ・ 図書 ・ 生涯学習とファシリテーター入門 ・ コミセン条例		・ 個人情報保護 ・ コンプライアンス ・ 職業倫理 ・ 接客 ・ 地域共生社会 ・ 津波対策 ・ カスタマーハラスメント ・ C a n v a 研修 ・ 清掃 ・ 経理 ・ 労務 ・ 図書	

	R6実績（参考値）	R7計画	R7実績
配置人員	豊川 正規3人 パート16人 沼ノ端 正規4人 パート15人 住吉 正規3人 パート15人 のぞみ 正規3人 パート17人	各館 正規… 3人 パート…14人 4館合計…68人	豊川 正規3人 パート15人 沼ノ端 正規3人 パート15人 住吉 正規3人 パート16人 のぞみ 正規3人 パート17人
指定管理者独自で行った工夫、取組等	・デジタルサイネージで施設の行事案内や講座の紹介を行うことで施設利用者の増加に努めている。 ・講座の内容見直しや広報の工夫を行い、講座受講率の向上を図っている。 ・施設維持業務や軽微な修繕を職員で行い、経費節減に努めている。 ・地域の学校や団体及び関係機関と協力して多様なイベントを行い、世代間交流の促進や参加者の学びの機会の拡大、地域間の交流を深める機会を提供した。		